



2020年9月29日

各 位

会社名 カンダホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原島 藤壽
(コード：9059、東証第二部)
問合せ先 経理部長 田中 隆雄
(TEL. 03-6327-1801)

(訂正・数値データ訂正) 「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年7月31日に開示いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年9月29日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 カンダホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9059 URL <https://kanda-web.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 藤壽
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田中 隆雄 TEL 03-6327-1801
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,829	△2.1	521	0.7	605	17.8	365	26.2
2020年3月期第1四半期	11,062	2.4	518	20.0	514	20.1	289	34.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 675百万円 (107.7%) 2020年3月期第1四半期 325百万円 (20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	33.93	—
2020年3月期第1四半期	26.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	39,826	18,226	45.6
2020年3月期	39,562	17,681	44.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,159百万円 2020年3月期 17,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,800	△1.2	980	△1.9	1,030	8.5	620	6.7	57.61
通期	44,100	0.8	1,750	△3.2	1,800	4.3	1,080	3.8	100.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。詳細につきましては、本日（2020年7月31日）公表いたしました「連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	11,654,360株	2020年3月期	11,654,360株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	891,474株	2020年3月期	891,474株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	10,762,886株	2020年3月期1Q	10,762,913株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(連結の範囲の変更)	7
(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けた個人消費の急激な落ち込み等に加え、海外経済の悪化に伴う輸出入の大幅減によりリーマンショック時以来の景気低迷に見舞われました。緊急事態宣言の解除後は、経済活動再開の広がりにより、4月を最悪期としてひとまず底入れの兆しも見えつつあるものの、ここに来て新型コロナウイルス感染第2波の懸念も出てきており、景気の先行きは引き続き不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、物流業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により通販などの一部を除き、貨物輸送量が大幅に減少しており厳しい状況で推移しております。

当社グループでは、新型コロナウイルスの影響により国内部門では、食品・衛生用品・日用雑貨等については貨物量の大幅増加が見られる一方、国際部門を中心に貨物量が大幅減となりました。また、「業績改善運動」につきましても引き続き推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、10,829百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。営業利益は、営業収益の減少に伴い、営業総利益ベースでは18百万円（前年同四半期比1.8%減）の減益となったものの、販売費及び一般管理費の削減を進めたこと等により521百万円（前年同四半期比0.7%増）となり、経常利益は605百万円（前年同四半期比17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は365百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、13,407百万円（前連結会計年度末は13,324百万円）となり、82百万円増加しました。現金及び預金の増加224百万円、リース投資資産の減少71百万円、受取手形及び営業未収金の減少16百万円、前払費用の減少10百万円、受託現金の減少9百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、26,419百万円（前連結会計年度末は26,238百万円）となり、181百万円増加しました。投資その他の資産に含めて表示しています投資有価証券の増加345百万円、建物及び構築物（純額）の減少115百万円が主な要因です。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、12,429百万円（前連結会計年度末は12,565百万円）となり、135百万円減少しました。その他に含めて表示しています未払金の増加279百万円、預り金の増加118百万円、支払手形及び営業未払金の減少204百万円、未払法人税等の減少193百万円、賞与引当金の減少172百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、9,170百万円（前連結会計年度末は9,315百万円）となり、144百万円減少しました。長期借入金の減少159百万円が主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、18,226百万円（前連結会計年度末は17,681百万円）となり、544百万円増加しました。利益剰余金の増加234百万円、その他有価証券評価差額金の増加239百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は1.0ポイント上昇し45.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結累計期間の業績予想につきましては、2020年5月15日公表の2020年3月期決算短信において未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報を基に算定いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,682	3,907
受託現金	3,023	3,014
受取手形及び営業未収金	4,832	4,815
たな卸資産	72	79
前払費用	318	308
リース投資資産	1,072	1,000
その他	332	291
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	13,324	13,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,433	9,318
土地	10,053	10,053
その他(純額)	2,590	2,539
有形固定資産合計	22,078	21,911
無形固定資産	669	652
投資その他の資産	3,490	3,855
固定資産合計	26,238	26,419
資産合計	39,562	39,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,201	2,997
短期借入金	3,122	3,196
未払法人税等	474	281
預り金	3,087	3,205
賞与引当金	278	105
その他の引当金	51	51
その他	2,349	2,592
流動負債合計	12,565	12,429
固定負債		
長期借入金	5,512	5,353
リース債務	1,036	981
役員退職慰労引当金	238	193
退職給付に係る負債	935	943
資産除去債務	36	36
その他	1,555	1,663
固定負債合計	9,315	9,170
負債合計	21,881	21,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772	1,772
資本剰余金	1,629	1,629
利益剰余金	<u>14,199</u>	<u>14,434</u>
自己株式	△330	△330
株主資本合計	<u>17,270</u>	<u>17,505</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409	648
為替換算調整勘定	△23	18
退職給付に係る調整累計額	△13	△12
その他の包括利益累計額合計	<u>372</u>	<u>653</u>
非支配株主持分	38	66
純資産合計	<u>17,681</u>	<u>18,226</u>
負債純資産合計	39,562	39,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	11,062	10,829
営業原価	<u>10,007</u>	9,793
営業総利益	<u>1,055</u>	1,036
販売費及び一般管理費		
役員報酬	76	65
給料及び手当	136	163
賞与引当金繰入額	20	22
退職給付費用	5	7
役員退職慰労引当金繰入額	7	5
その他	290	249
販売費及び一般管理費合計	<u>536</u>	514
営業利益	<u>518</u>	521
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	25
受取保険金	12	26
為替差益	—	36
その他	21	27
営業外収益合計	<u>57</u>	116
営業外費用		
支払利息	23	16
貸倒引当金繰入額	<u>14</u>	—
保育園運営費用	12	13
為替差損	8	—
その他	2	3
営業外費用合計	<u>61</u>	32
経常利益	<u>514</u>	605
特別利益		
固定資産売却益	3	8
その他	—	0
特別利益合計	<u>3</u>	8
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	<u>0</u>	0
税金等調整前四半期純利益	<u>517</u>	614
法人税等	<u>228</u>	246
四半期純利益	<u>289</u>	368
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>289</u>	365

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	289	368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	239
為替換算調整勘定	△8	66
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	35	306
四半期包括利益	325	675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329	646
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、下記の新規連結子会社は、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社に該当いたしません。

(連結の範囲の変更)

前連結会計年度において、非連結子会社でありましたカンダリテールサポート株式会社、カンダビズパートナー株式会社は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

当社の連結子会社であります株式会社レキストと株式会社オービーエスは、2020年4月1日付で株式会社レキストを存続会社として合併し、株式会社オービーエスは消滅いたしました。

(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)

連結子会社のうち、Pegasus Global Express (Thailand) Co., Ltd. 及びPT.Pegasus Global Express Indonesiaの第1四半期決算日は3月31日であります。当該四半期決算日の四半期財務諸表を用いて四半期連結財務諸表を作成しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。